

平成30年度第1回沼田市総合教育会議会議録

1 開催日

平成30年9月27日（木）

2 場所

中央公民館学習相談室

3 出席者

沼田市長 横山 公一

沼田市教育委員会

教育長 大竹 孝夫

委員 保坂 充勇

委員 星野 貴昭

委員 飯田富美子

委員 平形 昇

事務局

坂田誠二教育部長、藤井隆庶務課長、富田孝学校教育課長、平井通晃社会教育課長、小池雅典文化財保護課長、川田正樹スポーツ振興課長、鶴淵佳秀庶務課長補佐

4 開会 午後1時30分

5 市長あいさつ

6 会議録署名人の指名

市長が星野委員を指名

7 意見交換

議長：横田市長

テーマ

(1) 小学校における外国語教育の充実について

○学校教育課長から小学校における外国語教育の概要や課題等について説明

◎主な意見

保坂委員)

- ・日本語を学習中の低学年の児童が、外国語教育に取り組むことは大丈夫なのか。

学校教育課長)

- ・低学年の児童は、英語を耳で聞くことや慣れることを目的にしている。

飯田委員)

- ・英語教育の拠点校は授業を見させていただき、子どもたちが英語に親しむ姿を目の当たりにすることができた。拠点校ではなかった学校は、指導が

手薄にはならないか。

学校教育課長)

- ・ E A T (英語教育アドバイザー教員) の配置事業により、拠点校以外の学校においても英語の指導力向上を図っている。

星野委員)

- ・ 英語の授業以外で、外国語教育としての活動を何か計画しているか。

学校教育課長)

- ・ 主なるものは、英語の授業である。

平形委員)

- ・ 英語教育において他の科目同様に、個人差が出ることは仕方ないことであるが、保護者に対して啓発が必要ではないか。

学校教育課長)

- ・ 学校だよりの発行や授業参観、懇談会等で、状況を保護者に伝えている。

保坂委員)

- ・ 小学校の英語の授業は、担任が教えるのか、英語の科目担当が教えるのか。

学校教育課長)

- ・ 学校によって状況が一律ではない。英語専科の教諭が授業を行う学校もあるが、英語専科の教諭が配置されていない学校では、E A T (英語教育アドバイザー教員) の指導・助言、情報提供を受けて、担任が授業を行う。

保坂委員)

- ・ 先生方の英語の指導力向上のために、合宿を実施している地域もあるようだが、沼田市ではそのような予定はあるか。

学校教育課長)

- ・ 今のところ、沼田市では予定はない。

星野委員)

- ・ 平成32年度以降の計画はどうなっているのか。

学校教育課長)

- ・ 平成32年度から新学習指導要領が全面実施され、その後は継続される予定である。

保坂委員)

- ・ 英語の授業が増えることにより、総時数は変わらないのか。

学校教育課長)

- ・ 英語の時数の分、総時数が増えることになる。一週間あたり1コマ増えることになるため、時数の確保に苦慮しているところである。

(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたドイツフェンシングチームの事前合宿について

- スポーツ振興課長から2018年フェンシング世界選手権中国大会事前合宿の概要や今後の課題等について説明

◎主な意見

平形委員)

- ・この事業は、スポーツ振興課だけではなく、市全体としての取り組みが必要ではないか。また、フェンシングという競技を知らない人も少なくないと思うが、メリットはあるのか。

スポーツ振興課長)

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンに関する事務は企画課で担当している。ホストタウンの取り組みの一つとしての事前合宿をスポーツ振興課が担当した。スポーツ振興課では、事前合宿後にフェンシング教室の参加者が増えたと聞いている。また、偶然かもしれないが、事前合宿後のフェンシング大会で中学生のチームが全国優勝を果たすなど、喜ばしいことだと感じている。

飯田委員)

- ・今回の事前合宿は、あまり市民に知られていなかったのではないか。次回には、パレードなど盛り上がるような取り組みをお願いしたい。

スポーツ振興課長)

- ・盛り上げ方について、今回の経験を踏まえ対応を検討したい。

星野委員)

- ・今回の事前合宿に要した費用はどのくらいだったのか。

スポーツ振興課長)

- ・ピストや審判機8台の購入や会場のトイレの洋式化等を含め、約2,300万円であった。そのほかの内容は、羽田空港から沼田市までの交通費、合宿期間中の宿泊費、飲食代等である。

市長)

- ・他の自治体では、日本までの航空費用を支出しているところもある。ドイツフェンシングチームの事前合宿は、3自治体で競合して沼田市となった経緯がある。

また、ピスト等については、市民体育館が群馬県の国体におけるフェンシングの拠点スポーツ施設に位置付けられていることから、その際に利用できると考えている。

保坂委員)

- ・2020年の事前合宿では、沼田市にとっては盛り上がり期待する反面、選手にとっては大会前であることなど、バランスをとることは難しいと思うが、どう考えているか。

市長)

- ・オリンピックはそれまでの選手のポイント制により出場が決まることもあり、ドイツチームの選手が何人出場できるのか現時点では分からないが、出場が決まった後にドイツチームと相談しながら取り組みたいと考えている。

星野委員)

- ・事前合宿では、実行委員会組織で取り組む自治体が多いということだが、素案はあるのか。

スポーツ振興課長)

- ・今回の経験を踏まえ、今後、検討したい。

8 閉会 午後2時25分